

	発令状況	児童	家庭の対応	学校の対応
登校前	①大規模地震発生時 ※本市及び近隣市区が 震度5強以上 ②特別警報宣言 ③その他非常事態	<u>登校しない</u>	自宅待機 市の防災放送を聞く。 →避難勧告 避難指示等	◆臨時休業の場合は原則メール配信 ※学校からの連絡は可能な限り試みますが、状況によってできない場合があることを想定してください。) ※臨時休業を検討する基準は、次の通りです。 登校する時刻(午前6:30の時点)に大雨・大雪・暴風雨・暴風・竜巻・洪水等の警報が出ている、または出る可能性が予想され、児童の登下校に危険があると判断したとき。 ※登校させることに迷う場合は、家庭での判断を優先してください。 ◆前日に対応を連絡する場合があります。 ◆自然災害等の不可抗力で登校できない場合は遅刻・欠席扱いにはなりません。 ◆朝の課外活動は行いません。
	④その他警報 → 大雨、大雪、 暴風、雷 等	<u>保護者の判断</u> による時間をずらしての登校可	通学路の安全を確認して登校または自宅待機	
在校中	①大規模地震発生時 ※本市及び近隣市区が 震度5強以上 ②東海地域地震や南海トラフ地震など大地震の警戒宣言等	<u>学校待機→引き取り</u> ※保護者の方は、引き渡しカードに基づいて迎えに来てください。	震度5強以上の地震の時は、学校から連絡がなくともできるだけ早く引き取りに来校してください。 ※学校から連絡できない場合があるため。	◆引き取りに来られない家庭の児童は、学校で留め置き対応をします。可能な限り早く迎えに来てください。(引き取りの際は必ず徒歩をお願いします) ◆引き取り・学校再開の連絡は可能な手段で行います。
	③特別警報、警報 → 大雨、大雪、 暴風、雷 等	学校待機→状況により授業時間を短縮し下校。 ※引き取りのお願いをする場合あり(引き取りまで学校で留め置きます。)	引き取りの連絡が入った場合は、できるだけ早く引き取りに来てください。	◆状況に応じ校長が以下のような対応を判断します。 ① 引き取りによる下校 ② 職員の引率による色別(方面別)下校 ③ 時間や方面を揃えての全校・学年一斉下校 ◆前日に対応を連絡する場合があります。
	④注意報 → 大雨、大雪、 暴風、雷 等	学校待機→状況を見ながら下校。 課外活動は中止することがあります。	できるだけ外出を控えてください。	◆下校時刻が変更になる場合以外は学校からの連絡は原則行いません。 ◆雷が発生している場合は学校へ留め置きます。 ◆状況に応じて、一斉下校させることがあります。
	発令状況等	児童・家庭の対応		
下校中	下校中に大地震が起きた場合、特別警報が宣言された場合、警報・注意報が出た場合 等	◆家庭で、事前に児童とどうするか決めておいてください。 【例1】自宅に保護者がいない場合は学校へ 【例2】学校か自宅か、どちらか近いほうへ行く 【例3】自宅に戻る 【例4】途中、雷が鳴ったら近くの建物の中に避難する ◆日頃から、登下校時はいつも決まった道を通るようにご家庭でも指示しておいてください。		
	Jアラート発信時	児童:すぐに近くの建物の中に避難する。		

※上記緊急時に、個々の家庭から学校へ問合せや連絡の電話はお控えください。

関係機関との情報交換・情報収集・緊急連絡や、児童の安全確保をしていることが想定されます。対応については、このプリントを基準にご家庭で判断をお願いします。